

重要取組シート

会計室

取組項目		財務会計システムの再構築の推進
現状・課題		・ 現行システムは平成 22 年 4 月から運用を開始し、今年度で 13 年目となるが、これまで大規模なシステム障害は発生しておらず、安定的に稼働している。 ・ 現行システムのサポートが令和 7 年 3 月末で終了する（令和 6 年度決算を現行システムのまま対応できるよう現行事業者と調整が必要）。 ・ 現行システムは高度にカスタマイズが施されているが、市の方針に沿ってカスタマイズの低減を行うことにより、大きな業務支障を生じない範囲で、開発費用や運用経費を低減できるよう検討している。 ・ 現行システムは多数の自作システムが付帯しており、業務効率化などに寄与しているが、それらの機能のうち最低限のものを再構築時に別途開発する必要がある。 ・ システム機能の調整、事業者選定、契約に向け、着実な業務の進捗を図るうえで、実施体制と業務効率化が課題となっている。
取組の内容		・ カスタマイズの低減に向けて、財務会計システム業務所管課等が必要とする機能の調査を行い、市として引き続き維持すべき機能の整理と決定を行う。 ・ 現行機能のうち、高い必要性が認められないものは、カスタマイズや機能自体を削除する。 ・ 調達の参考として現行システム事業者からシステムの機能情報と概算見積を得て、調達仕様内容を決定する。 ・ 財務会計システムの適正かつ効率的な運用に必要な自作システムについて、必要な機能、仕様の整理を行う。
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ 現行事業者から現行システム機能情報の確認（パッケージ機能・カスタマイズ機能）と概算見積書の徴取（4 月～5 月） ☐ 財務会計システム業務所管課等へのヒアリング、機能調整・カスタマイズの削減（5 月～6 月） ☐ 提案書作成要領及び選定基準等の調整（6 月）
	中期 (～11 月)	☐ 開発受託事業者公募（8 月～） ☐ 開発受託事業者入札・プレゼンテーション（9 月～10 月） ☐ 開発受託事業者選定・決定（10 月） ☐ 開発受託事業者との契約締結（10 月） ☐ 開発業務の開始（10 月） ☐ 以後、開発業務を推進（～令和 7 年度中）（※）
	後期 (～3 月)	
	次年度以降	☐ 新システムの一部稼働開始（令和 6 年 9 月（令和 7 年度予算要求）から段階的に稼働開始。）（※） ※ 開発業務及びシステムの稼働は、業務区分ごとに順次行っていきます。

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 先行市への参考照会・聴き取り（カスタマイズ量低減への取組み等について）（6月） ☐ システム事業者へのパッケージソフト機能の説明依頼及び開発スケジュール等聴き取り（政令市システムを所管する各事業者）（6月） ☐ 現行システム機能の精査方法について協議（財政課、ICT イノベーション推進室、会計室出納課）（6月～） ☐ 現行事業者からのパッケージソフト機能とカスタマイズの考え方等説明及びレコード資料の提供（7月） ☐ 各業務所管課による現行機能の精査（カスタマイズ削減の検討）（7月～）		
	中期 (～11月)	☐ 学識経験者に落札者決定基準作成時等の意見提出について依頼（10月） ☐ カスタマイズ量に基づく各機能の再精査（各業務所管課に依頼）（10月） ☐ 入札説明書・調達仕様書等の作成（10月～） ☐ 現行システムのカスタマイズ低減の効果等について調査依頼（11月～）		
	後期 (～3月)	☐ 現行機能の削減及び追加機能の精査（12月～3月） ☐ 機能の精査に関する関係課協議（2月～） ☐ 執行予算の精査（3月～） ☐ 提案書作成要領及び選定基準等の調整（3月～）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	—		
	寄与する KPI	—		目標値（2025年度） —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 —	—	
	寄与する KPI	—		目標値（2023年度） —